

GUEST
HOUSE
PROJECT

地域 おこし 協力隊

マガジン

矢祭町 ゲストハウスプロジェクト

地域おこし協力隊による
活動報告と自己紹介を兼ねた

フリーペーパーです

2020年12月18日発行



協力隊初めての冬へ

だんだんと寒さも厳しくなり、美しかった紅葉も役目を終え、冬の足音を感じるようになります。

あたかく雪の少ないところからやつてきた私たちは、これから訪れる東北の冬の寒さにドキドキ半分、不安半分といったところです。

協力隊は、自分たちの活動に加えて矢祭町のPR活動により力を入れるようになりました。

福島県内では郡山・福島市へ出向き、地域外では、東京でのイベントに参加し“東北最南端の町”矢祭町の文化・魅力を伝えてまいりました。

また、ラジオにも出演しメディアを通して少しずつ活動の幅を広げています。

コロナも再び流行の兆しを見せているので、十分に注意しながら、内外に今後とも精力的に活動していくます。

協力隊ってどんな人？佐瀬ボーイによる他己紹介



協力隊も着任から約半年がたち、これまで多くの町民の方と交流させていただきましたが、協力隊のことを知らない。という方もまだいらっしゃると思います。というわけで、半年たった今だからこそ、わたくし佐瀬の偏見と独断でほかの隊員を改めて紹介します。

近藤秋子



協力隊内での呼び方 あっちゃん あきこ

とにかく気配りの人。誰とでも仲良くなれる人当たりの良さに目が行きがちになるが、常に周囲をよく見て、周りの困っていることにそっと手を差し伸べてくれるありがたい存在。
お酒にも強く、コミュニケーション力も兼ね備えておりとても親しみやすい。
交友関係の広さは協力隊一である。
何をしても絵になるので、広報などで協力隊のモデルとして使用されることが多い。

影山陽一



協力隊内での呼び方 影山さん 陽ちゃん

年齢を感じない柔軟な思考を持っていると同時に、年長者らしくしっかりした考えも持っていて、バランスがすばらしい。
協力隊の中では、メカニックな部分に一番精通していてデジタルに強く、町の人からのPC関係の相談に乗っていたりする。もともと誠実で親しみやすいけれど、お酒を飲むとより陽気になる。
最近、そば打ちの腕をめきめきと上げているとのうわさがある。

川瀬孝之



協力隊内での呼び方 川瀬さん

人生経験豊富でいろんな知識や専門性を持っているので、話していて飽きがこない。
町民の方と話す際も、圧倒的な知識量でどんな話題にも対応している。
特に知識の豊富な焼き物の話をしている川瀬さんは、目の前でなんでも鑑定団を見ているような気分になる。
年齢を感じさせない、行動力が素晴らしいフットワークの軽さは誰もが見習いたいところ。

井上恵



協力隊内での呼び方 めぐちゃん 井上さん

抜群のデザインスキルを持っており、美的感覚は協力隊随一のものがある。
協力隊にはいないタイプなので、彼女の力に頼っているところは大きい。
デザインという見える形で町に貢献しているので、そのうち井上プレゼンツのデザインが町にあふれかえりそうな気もする。
ご飯を吃ることが何よりも好きなので、いつもおいしいものを探している。

今後とも矢祭町地域おこし協力隊をよろしくお願いします！！